

「ゆりかご・ふぁみりあ基金」への寄付のお願い

<基金設立の背景・経緯>

昨今の少子化や育児休業期間の延長の影響は想像以上に大きく、数年前まで待機児童が社会問題となっていたことが嘘のように、ゆりかごの入園児数も大幅に減少しています。

保育園には、在園児数に応じて年齢別に単価の異なる運営費が支給されるため、園児数の減少は経営に直結します。

以前は、子どもの人数に応じて比較的柔軟に保育士数を調整することができました。しかし近年は保育士の確保自体が極めて困難な状況となっており、一度職員数を減らしてしまうと、再び必要な人材を確保することは容易ではありません。

また、ゆりかごには、若い保育士を使い捨てにするような運営に抗いながら歩んできた歴史があります。保育を志す若者が、生涯にわたって安心して働き続けられる職場であり続けるためにも、一定の財政的余裕を確保しておく必要があります。

園舎についても築50年を超え、耐震性に問題がないことは確認されていますが、各所に老朽化が見られます。長年にわたり、子どもたちがより安全で快適に生活できる環境へと改修したいと願ってきましたが、いまだ実現には至っておりません。

このような状況の中、ここ数年は徹底した節約により、ようやく収支均衡を保てるかどうかという厳しい経営が続いており、建物や設備への投資に充てる余裕は全くありません。

約50年前、多くの関係者の熱意によって創設されたこの保育園を、これから生まれてくる子どもたちへ少しでも良い形で引き継いでいくことは、これまでゆりかごに育てていただいた私たちの使命であると考えています。

皆さまに本基金の趣旨をご理解いただき、ご賛同とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

<「ゆりかご・ふぁみりあ基金」の由来>

「ゆりかご・ふぁみりあ」という名称は、建築家アントニオ・ガウディの代表作であり遺作でもある「サグラダ・ファミリア」に由来しています。

サグラダ・ファミリアは、「永遠の未完成」とも称される建築物です。ゆりかごもまた、これまで常により良い保育を追求してきましたが、完成形に至ることはありません。そしてこれからも、時代や子どもたちのニーズに応じて変化を続けながら、より良い保育を目指し続けていきます。そのような「完成を目指しながらも、決して歩みを止めない」という願いを、この名前に込めました。

また、「ふぁみりあ」は英語の「ファミリー（家族）」をイメージした言葉でもあります。ゆりかごに関わる子どもたちや保護者、卒園児、職員、地域の皆さまなど、すべての関係者は大きな意味で一つの家族であると考えています。その思いも、この名称に込められています。

<目標金額:1 億円>

大変大きな目標金額ではありますが、これまでゆりかごを巣立っていった子どもたちや保護者、職員をはじめ、さまざまな形で応援してくださった方々は数千人にのぼります。特に初期の卒園児の皆さまは、すでに 50 歳を超え、それぞれの分野や地域社会において活躍されています。

また、この目標を短期間で達成しようとしているわけではありません。長い年月をかけながら、一人でも多くの方に無理のない範囲でご支援いただき、少しずつ積み上げていきたいと考えています。

今後は、ホームページ等を通じて基金の収支状況や活用状況を定期的にご報告してまいります。そして、この基金の成長の歩みを、多くの皆さまと共有しながら見守っていければ幸いです。

<1 口金額>

1 口 10 万円を原則としますが、10 万円未満のご寄付もありがたくお受けいたします。

<特典>

子どもたちの笑顔と、ゆりかごを支えているという大きな自己満足のみです。

<振込先>

北洋銀行 北 7 条支店

普通 3572545

社会福祉法人 札幌黎明福祉会

理事長 宮坂 啓樹(みやさか ひろき)

★ 社会福祉法人へのご寄付は、税制上の優遇措置(寄付金控除等)の対象となる場合があります。

★ お振込みの際は、お手数ですが事前または事後に保育園までご一報ください。折り返し、ご希望の用途等をご記入いただく申込書と領収書をお送りいたします。

社会福祉法人 札幌黎明福祉会
幌北ゆりかご保育園
〒001-0018 札幌市北区北 18 条西 7 丁目 1-3
電話 011-746-3301
FAX 011-746-3304
E-mail info@sapporo-yurikago.jp

※HP 内お問い合わせフォームをご利用下さい